

# 婦人民主クラブ創立69周年

## 記念のつどい

### 私たちは平和を手離さない



あいさつする櫻井幸子さん

早春の穏やかな日差しに恵まれた三月十四日、婦人民主クラブは、東京・千代田区の全国教育文化会館で創立六十九周年記念のつどいを開きました。講演は伊東達也さん（原発問題住民運動全国連絡センター筆頭代表、いわき市民訴訟原告団長）、「原発事故から丸四年、福島は今―原発再稼働許さない 激突の年」と題して現地からの生々しい実態を語りました。文化行事では篠原梨恵さんのフルートの調べを楽しみました。参加者は百人を超えました。

「つどい」は、中島みち子さん（都庁支部）の司会で進められました。主催者あいさつに立った櫻井幸子さん（会長）は次のように語りました。

「今年は日本の敗戦から七十年、私たち婦人民主クラブはその翌年に誕生しました。『日本の女性』は、何と散り散り、ばらばらな暮らし方をしてきたことでしょうか」という言葉で始まる婦人民主クラブ趣意書は、戦争の惨禍をなめつくし、今こそ平和に生きたいと願う女性たちの胸に大きな希望の灯をともしました。

安倍政権は今、『戦争できる国』をめざし、集団的自衛権行使容認を具

体化するための法整備を一気に進めようとしています。しかしそれに『フー』を突き付ける共同の輪は、かつてないほど広がっています。私たちは日本国憲法と平和を手離さない決意を両手に握りしめ、新たな歴史を作る

一員として、創立七十年の峰に向かってスタートを切っていきたいと決意しています」

「今年女性参政権獲得七十年、女性差別撤廃条約批准三十年に当たります。また北京女性会議二十年ということで、女

性の権利をめぐって、女性参政権獲得七十年、女性差別撤廃条約批准三十年に当たります。また北京女性会議二十年ということで、女

性の権利をめぐって、女性参政権獲得七十年、女性差別撤廃条約批准三十年に当たります。また北京女性会議二十年ということで、女

私の住む福島県いわき市は、東電第一原発から一番近いところで二十八キロ、一番遠いところでは六十八キロ、奥行きが東西三十キロの大きな市です。この市が東日本大震災・

約半分の広さです。避難者は今、十一万九千人、その大多数が家族そろって住める家もなく、いつ終止符を打てるのか展望もない過酷な避難生活を続け、家族の七割が心身不調を訴えています。震災関連連死も絶えることな



## 原発事故から丸四年 福島は今

講演要旨 伊東達也さん

約半分の広さです。避難者は今、十一万九千人、その大多数が家族そろって住める家もなく、いつ終止符を打てるのか展望もない過酷な避難生活を続け、家族の七割が心身不調を訴えています。震災関連連死も絶えることな

引き離されたままです。分断と対立も深刻です。地域社会が第一原発からの距離で分断され、放射線量や賠償で分断され、津波被災と原発被災との対応の違いなどで県民の中に対立が持ち込まれています。加えて、大事

原発が立地する双葉町と大熊町に集約し、法律で三十年後には福島県外に運び出すとしました。面積十六平方キロ、建設費一兆一千億円、地権者約二千三百人。地元にとっては苦渋の決断です。地権者は故郷を完全に失うことを意味し、町民には帰還が一層困難になる問

故の責任をだれも取らないことへの怒り、不満が沈殿しているのです。中間貯蔵施設受け入れの問題に触れておきましょう。国は、県内四十三市町村の除染などから出た放射性廃棄物を、第一

今年には原発再稼働をめぐる激突の年となるでしょう。安倍政権は、規制委員会が「合格」を出せば再稼働を認める方針です。これに力を得た電力会社は二十一基もの再稼働を申請しました。これまで川内原発二基、高浜原発二基に「合格」が出されました。安倍政権

福島は多くの「墓標」を立て続けてきました。福島から原発をなくし、自然再生エネルギー先進県にすることは、福島の地に将来に向けた新しい日本社会への道標を打ち立てることになります。重大事故に屈することなく、その実現に向けて進む決意を固めています。

## 春をよぶフルートの調べ

篠原梨恵さん

桜色のドレスで登場した篠原さん、演奏はフルートならこの曲、「ヴェニスの謝肉祭」で始まりました。ついで息遣いがフルートに似ているとい

うオカリナでアニメ「となりのトトロ」から「風のとおる道」。時には尺八や琴とのコラボレーションもと、叙情豊かに箏曲「春の海」、そして次は

「澄んだ音色、素敵でした」「素晴らしい技巧、美しい音に聴きほれました」などたくさんの感想が寄せられました。

貴光教授記念奨励賞受賞、ウィーン・メロス音楽セミナー修了とフルートひとすじに研鑽を積みました。オーケストラ、室内楽などの共演、またソロのフルート演奏家として幅広く活躍しています。そして銀座「音楽ピヤラザライオン」へのレギュラー出演も。



篠原梨恵さん